多 職種連携　第５回

白山・美杉『顔の見える会』

今回のテーマ

住民参画型多職種連携で、困っている人を支援したい！

①健康保険・介護保険が使えない状況にある若年性認知症の方

②介護サービスを利用したくない家族と同居している認知症高齢者

③介護者から虐待を受けている可能性の高い病気がちの高齢者

～あなたの経験を生かしたアドバイスを求む！～

日時◆　平成 27 年 5 月 16 日（土）13:30～15:00

場所◆　白山保健福祉センター　2F会議室

内容◆　保健・医療・福祉の専門職と地域住民が連携した支援策検討＆交流会

～「見え検マップ」を使って
見える事例検討をしよう～

「見え検マップ」って？
事例検討で扱う情報を整理し検討していくツールです。
一枚のマップに整理していくことで、支援困難な要因に対して解決の糸口が見えてきます。

「白山・美杉　顔の見える会」は、この地域で活動する保健・医療・福祉に関わる職員が、高齢化が進んでも安心して暮らしていける地域を目指すために、お互いに顔の見える関係になって連携しようと立ち上げた団体です。
四半期ごとに、事例検討会や講演会などを開催し、地域住民の方々とも連携しながら、人の絆を活かして暮らしを守っていく取り組みを進めています。
いっしょに考えてみませんか？ぜひ、ご参加ください。

参加費◆　100 円　当日に受付にてお支払いください。

お申込み◆　不要（多数のご参加をお待ちしております）

お問い合わせ先◆　県立一志病院　運営調整部　井端　（TEL　262－0600　FAX 262－3264）

本会は地域を大切にする方々がボランティア意志に基づく活動をおこなうものです。

■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□　白山・美杉『顔の見える会』世話人